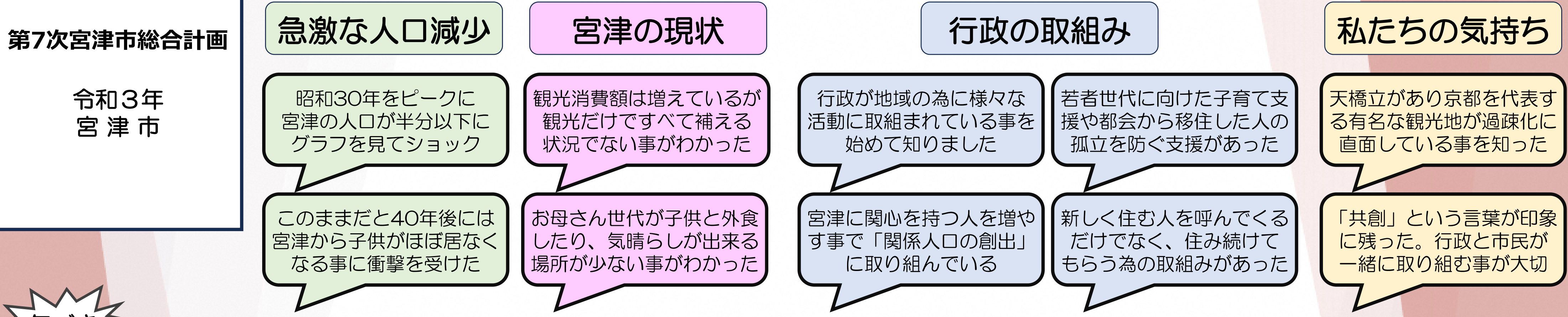


活動背景

ユーザーエクスペリエンスの授業テーマについて学生と教員で検討を進めるなかで、昨年ライフデザイン学科を卒業された方が4月から宮津市に移住し、シェアハウス運営、レモンの栽培と商品開発、農旅インターンシップに取り組まれている事を知りました。そこで今年度は京都府宮津市をフィールドに、若者の移住者増加に貢献する体験価値のデザインをテーマに活動する事にしました。

Step1 宮津市の現状をを理解する

宮津市の現状と取組みを理解するために、令和3年6月の宮津市議会定例会で議決された「第7次宮津市総合計画」を学生全員で読み、グループワークで理解出来た事をまとめました。



気づき「若い世代の人たちが活動出来る場所づくり」と「観光以外の新たな宮津の価値を活かした地域産業の創出」が大切

提案場所づくり：「株式会社 宮津町家再生ネットワーク」 地域産業の創出：「株式会社百章」との連携授業を計画

Step2 若者の活動拠点づくりの大切さを理解する



株式会社宮津町家再生ネットワークでは、地域の空家をリノベーションすることで、宮津に住む若者に向けて「はたらく場所」と「くらしの場所」を創生する活動に取り組まれていました。

私達は宮津市のシェアスペース「島崎ちしや」のリノベーション活動に参加させて頂き、「茶室の解体」と「古家具の修復」「屋外テラスの改修」に取り組みました。リノベーション活動に参加したフロアと屋外テラスは8月に行われた「宮津市灯籠流し花火大会」の飲食イベントに活用されました。

Step3 新しい価値創造と宮津の魅力を発信する



株式会社百章は4年前から宮津でレモンの育成をスタート。収穫したレモンの販売に加えて、加工したレモンをレモネードとして商品化し、地域の新たな価値あるとして販売しています。

私たちはレモンの収穫体験とレモネードの商品化の過程を学んだうえで、レモンとレモネードの魅力を動画にまとめて、VlogとしてSNSで発信しました。

約1か月間に渡り行った宮津のレモンとレモネードに関する動画は約4000人を超えるユーザーに視聴してもらう事が出来ました。